

「日の出町商工観光振興計画素案」への パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施概要と結果

- ① 意見募集期間
令和5年11月20日（月）～令和5年11月30日（木）
- ② 周知方法
日の出町ホームページ
- ③ 資料閲覧場所
 - 産業観光課窓口
 - 日の出町ホームページ
- ④ 公表した資料
日の出町商工観光振興計画素案
- ⑤ 意見の提出方法
所定の様式で窓口持参・郵送・ファックス・電子メールのいずれか
- ⑥ 意見の提出者数及び件数
提出者 5名 意見件数 14件

2. お寄せいただいたご意見・ご提案に対する町の考え方 別添の表のとおり

お寄せいただいたご意見・ご提案に対する町の考え方

ご意見1

実践的な取組・実践編をもっと明確化すべき

- ①関係管理職・職員間での情報の共有化と取組に対して温度差を無くす。(縦・横の連携)
- ②振興計画は、あくまでベースとして、それを拡大・拡張していく取組姿勢が重要です。
- ③振興計画の実践的ノウハウのある職員を採用するか、一部組合的に近隣市町村との連携や共同で有識者を採用・費用負担して、戦略と実践編を広域化・効率化する。
- ④近隣市町村との連携・ネットワークの構築と全体的な誘導・導線計画も明確化する必要がある。
- ⑤中核となる職員には、参考事例・気になる場所等があれば積極的に視察に行かせ、職員間の情報の共有化を図らせる。職員自体をわくわくさせる見聞もとても重要です。また、常任委員会の視察等にも関係管理職が積極的に参加する。

町回答1

- ①観光への取り組みは町のPRであり、全管理職・全職員が同じ決意を持って取り組むべきものと認識しております。観光に関わらず、日の出町のいいところ、魅力について全庁的な発信は、過去から継続しており、今後も取り組んでまいります。
- ②計画推進主体として、(仮称)日の出町商工観光振興計画推進委員会を設置し、各主体と事業を行い、委員会で実施状況の確認・効果検証・方向性などの議論を行えればと考えています。
- ③計画の推進において、必要に応じ専門的見地からのアドバイスを依頼する等、取り入れる方法を検討していきます。
- ④近隣市町村との連携事業として、秋川流域のあきる野市・檜原村と共同し、秋川流域フェアを毎年度開催しております。また、秋川流域として観光入れ込み客数調査を実施する等、秋川流域エリアでの観光を検討する必要があると認識しております。
今後の事業を進めていくうえで貴重なご意見として参考とさせていただきます。
- ⑤今後の事業を進めていくうえで貴重なご意見として参考とさせていただきます。

ご意見2

人材バンク等の採用と有識者による組織作り・取組の明確化

- ①専門分野ごとに有識者登録制度を早急に採用する。
- ②町内、または、近隣市町村の有識者・協力者の募集を図る。
町内、そして近隣市町村には様々な分野で活躍している方々、また、活躍していた方々がたくさんいるにも関わらず、なぜ積極的に取り組まないのか!?!・たいへん疑問である。

町回答2

- ①商工・観光分野における専門家・有識者の意見は必要に応じどのように聴取するかを検討して参ります。
- ②町内で観光関連事業を行われていらっしゃる方については、日の出町観光協会に所属されている方も含め、町の事業において適宜ご協力をいただいております。町といたしましても、観光協会や商工会を中心に、より密な協力体制をどの様に構築していくか、今後検討して参ります。

ご意見3

大学や関係機関との連携・取組を明確化

八王子市内にある大学だけでも約11万人の学生が学んでいる。
商工観光に関係する各大学の研究室の取り込みや学生の学位論文、院生の修士・博士論文などの研究テーマとして「日の出町への学生・院生・研究員・学芸員などの呼び込み」を実施する。

町回答3

今後の事業を進めていくうえで貴重なご意見として参考とさせていただきます。

ご意見4

今後の事業企画・展開は、最重要であるため、今後の(仮称)商工観光振興計画推進委員会には、他の自治体で成功に導いた人材を座長に任命するほか、旅行会社・観光業社・交通会社・教育関係者・総務省や経済産業省・若者・子どもなど本計画を策定した方とは別の専門性をもった方々も含めまずは実行委員会を立ち上げることから始めてはどうか？

町回答4

(仮称)商工観光振興計画推進委員会については、今後委員構成を検討して参ります。

ご意見5

施策推進の結果は町民に広く広報し、(仮称)商工振興計画推進委員会には検証を行っていただき、次への提案やアイデアをブラッシュアップを行いながら着実に進めていただく方向ではいかがか。

町回答5

(仮称)商工観光振興計画推進委員会では、本計画の評価・検証を行いながら、事業の実施方法などを検討していければと考えております。

ご意見6

この度の商工観光計画は全体感に立って問題、課題、方向性は示されているが肝心なことは核となる実施部隊の編成、様々な分野の意見を反映し、具現化できる組織作りが必要であると考えます。そのためにはプロのマネージメントを入れ短期、中長期の目標値を設定するべきと考えます。

町回答6

商工・観光分野における専門家・有識者の意見は必要に応じどのように聴取するかを検討して参ります。

ご意見7

P53で1から30までの個別施策に関しては全体を把握している内容であり評価するが具体的アクションプランを明確に示すべきと考えるか？

町回答7

事業の具体的な実施方法に関しては、各主体となる団体が中心となり実施していきます。また、その内容や実施状況などについては(仮称)商工観光振興計画推進委員会で検討・情報共有を行っていければと考えております。

ご意見8

あきる野市引田地区の大規模開発で、当町のイオンモール付近と都道を挟んだその向かいの地区が総合的に西多摩でも有数のにぎわい集積地になるポテンシャルが生まれている。当町としても稀有のチャンスであり、あきる野市・東京都と協力してそれを活かす総合計画を立てるべき。

町回答8

今後の事業を進めていくうえで貴重なご意見として参考とさせていただきます。

ご意見9

計画がほぼ町内の頑張りのみで構成されているのは寂しく、特に少子高齢化・後継者不足への対処は困難。観光連携のみではなく、人材や技術などの取りこみ、スタートアップの誘致戦略、事業後継者の招聘など、具体的な連携の仕組みが必要。今後5年間はその枠組みを作る大事な時ではないか。

町回答9

町では現在、青梅線沿線の8市町で構成された青梅線沿線クラスター協議会に参加し、協議会の事業として人材確保事業や町内の事業者に向けた人材育成事業を実施しております。また、令和5年度より日の出町内の創業者を支援する、創業支援補助金を創設し、事業スタートアップに向けた体制作りを始めております。

今後、このような取り組みを継続し、より効果的な事業を実施できるよう適宜見直しを図ってまいります。

ご意見10

数値目標が全くないのでは計画とは言えない。5年後が最終目標時期ではないとしても、第4章までの現状分析で出している各種数値の長期目標ないし5年後の達成目標を設定するべき。

町回答10

数値目標については、(仮称)日の出町商工観光振興計画推進委員会内で設定し、効果検証を行っていければと考えています。

ご意見11

農林業の書き方がおざなりで、本計画に項目として掲げる意味がない。本案の枠組で本計画を構成するのであれば、農業は別計画として作成するべき。

町回答11

農林業関連事業については、「日の出町農業振興基本計画」及び「日の出町森林整備計画」に基づき実施しておりますが、本計画では農林業と商工観光との関連性を示すために表示しております。ご了承ください。

ご意見12

基本目標4 支える

27)ひので匠、逸品運動への補助金交付

・ひので和紙 ・藍染め工房 ・機関車バス 他

日の出町で頑張っている事業者のリサーチをして、町とのコラボ企画を考え、特色ある日の出町にして頂きたい。

行政だけの考えでは、いい発想は生まれません。自治会を巻き込んだ取り組み。

観光協会、町民の中にいい発想、アイデアを持っている方はいると思います。それを引き出すのも行政の力量なのではないでしょうか。

書面上では、素晴らしい計画だと思います。令和6年から5年間で、どんなことができるか楽しみです。よろしく願いいたします。

町回答12

商工観光の発展においては、町事業者の方のご協力は不可欠であるため、今後積極的な取り組みをされている方たちの活動を支援していきます。

ご意見13

まず、素案を出すにあたり町民を交えた協議会などで、町民が何を期待しているかを問うべきであると思います。素案が出来上がったら、それをどのように皆さんにお知らせし、より多くの町民の方を取り組み、成功体験を実現させるかを考えることが最優先だと思います。

①町のHPの1日の訪問数は？ 訪問した方が何を検索したか？

パブリックコメントの募集がHPのみで、それも10日間の募集ではコメントの応募数が期待出来ません。

広報に掲載する、防災無線で毎日呼びかけるとか方法を考えるべきです。

②素案では、ワクワク感、ドキドキ感が感じられません。

魅力のあるなしで変化する、観光、インバウンドなどに頼らない(日の出町には宿泊施設はほぼ有りません)町独自の町の財産である山、圃場、空き家(宿泊施設として解放出来るのであれば財産になり得る)を結び付け、持続可能な地域循環社会を目指すべきだと思います。

③型通りの観光では檜原村、あきる野市、奥多摩町、青梅市には太刀打ち出来ません。

何も無いのをアピールするのも一つの手段になるのではないのでしょうか。型通りの観光ではなく、発見する喜びや感動、忘れられない体験が出来るアドベンチャートラベルなど、より魅力を伝えられるコンテンツやツアーづくりを考えるべきだと思います。

④地域の財産をより活用するために

例えば、セルフビルドを考えている方を公募し、山から杉や檜を切り出す所から建築まで経験してもらい週末の作業では宿泊施設として、リフォームした空き家(町からの助成金、工事はもちろん地元の業者)を使用し(大家さんには賃料が入る)。出来上がった建物の周りには菜園を、菜園の作業は日の出町に就農で移住した方(もしくは農家さん)に指導してもらおうなど(移住の相談相手にもなる)住民が見守るシステムが出来れば移住者も増え、補助金付き企業の誘致等に頼らなくても、住民が自らのアイデンティティ・地域への誇りを再認識する事で持続可能な町づくりが出来ると思います。町には、システムづくりの手続きをお願いしたいと思います。

⑤これから素案を協議していくにあたり

地方再生のプロフェッショナルの方、学生(経済学部、芸術学部)、もちろん町民の方を交えた協議会をお願いしたいと思います。

町回答13

①②④⑤今後の事業を進めていくうえで貴重なご意見として参考とさせていただきます。

③観光PRIについては、町の所有する既存資源を活かしながら、どのような方法が効果的であるかを研究し、改善してまいります。

多くのご意見・ご提案をいただきましたが、中には具体的な事業案についてのご提案をいただいております。今回の計画に反映することが困難なため、以下にご紹介させていただき、今後の事業実施に向けて参考とさせていただきます。ご了承ください。

ご提案いただいた事業内容

P62 16)インバウンドの誘致 と P62 新たな観光戦略づくり

具体的な誘致イベント、ツアーは下記の通り

ポイント

- 1.都心から近いのに、純日本風の催事に参加したり、見学することができる機会提供。
2. ガイド、ボランティアは10,000円/日位は支援しなければ続けて参加してもらうのは難しそう。

2)観光協会の機能の充実 と 14)観光情報発信の強化への提言

具体的なツアー一例

■2.訪日外国人向けツアー内容

(1)日本第二の大仏

対象者: 仏教国の人々(タイ),(ベトナム),(ラオス),(カンボジア),(中国),(台湾),(韓国)その他

要送迎: 武蔵五日市駅(秋川駅)集合→鹿野大仏→武蔵五日市駅((秋川駅)

ガイド(日本語、英語、東南アジアの言語): 日の出町在住元各国出身、滞在者と中学生、高校生にお願いする

提供するもの: 各駅から大仏までの送迎、入園料、日の出町内昼食

支払い: お寺に人数分入場料

その他: 大仏前焼香台にタイ、ベトナム、ラオス、カンボジア、韓国などの国旗を配置するとインスタ映え記念写真スポットとなりそう

(2)秋川不動尊 火渡り荒修行

ハイライト: 火渡り荒修行(インスタ映え)

対象者: 日本人、外国人

要送迎: 武蔵五日市駅(秋川駅)集合→鹿野大仏→武蔵五日市駅((秋川駅)

ガイド(日本語、英語、東南アジアの言語): 日の出町在住元各国出身、滞在者と中学生、高校生にお願いする

提供するもの: 各駅から大仏までの送迎、入園料、日の出町内昼食(祭り内で提供される飲食物)

支払い: 秋川不動尊 火渡り荒修行お寺と開催者に5万円位(飲食を含む)

(3)幸神神社祭礼

対象者: 日本人、外国人

ハイライト: 山車を引く、休憩時間の飲食、飲食休憩中に山車に乗りインスタ写真撮影時間

対象者: 日本人、外国人

要送迎: 武蔵五日市駅(秋川駅)集合→鹿野大仏→武蔵五日市駅((秋川駅)

ガイド(日本語、英語、東南アジアの言語): 日の出町在住元各国出身、滞在者と中学生、高校生にお願いする※中学生、高校生には外国人と接する好機を提供する。また、学生単独ではなく、ガイドの補佐として活躍してもらう。

提供するもの: 祭り参加補助、山車運航予定内の飲食(祭り内で提供される飲食物)

支払い: 開催者に5万円位(飲食を含む)※人数による

(4)平井のお祭り

対象者: 日本人、外国人

ハイライト: 山車を引く、休憩時間の飲食、飲食休憩中に山車に乗りインスタ写真撮影時間

対象者: 日本人、外国人

要送迎: 武蔵五日市駅(秋川駅)集合→鹿野大仏→武蔵五日市駅((秋川駅)

ガイド(日本語、英語、東南アジアの言語): 日の出町在住元各国出身、滞在者と中学生、高校生にお願いする※中学生、高校生には外国人と接する好機を提供する。また、学生単独ではなく、ガイドの補佐として活躍してもらう。

提供するもの: 祭り参加補助、山車運航予定内の飲食(祭り内で提供される飲食物)

(5)鳳凰の舞(常福寺)

対象者: 日本人、外国人

ハイライト: 休憩時間の飲食、飲食休憩中のインスタ写真撮影時間

対象者: 日本人、外国人

要送迎: 武蔵五日市駅(秋川駅)集合→鹿野大仏→武蔵五日市駅((秋川駅)

ガイド(日本語、英語、東南アジアの言語): 日の出町在住元各国出身、滞在者と中学生、高校生(無料ボランティアではなく日当を支払う)にお願いする※中学生、高校生には外国人と接する好機を提供する。また、学生単独ではなく、ガイドの補佐として活躍してもらう。

提供するもの: 祭り参加補助、山車運航予定内の飲食(祭り内で提供される飲食物)

その他、春日神社に隣接する常福寺宝篋印塔、保泉院閻魔堂東京都の指定文化財『木造閻魔王坐像』も合わせて案内できる

P56 4)新たなイベントの企画・展開

日の出町活性化イベント

(1)強調点:

1)イベントタイトルに「日の出町」の文字を入れて日の出町をアピールする。

2)すでに他所で行われている行事ではインパクトが小さい。

3)本格的登山ではなく、手軽に始められて、都心の公園を歩くより若干きつい運動がよい。

(1)イベント例

1)ツールド日の出(日の出町内のミニ自転車レース)

(a)コース例, 岩井橋付近の広場集合-白山-台沢林道-梅野木林道-つるつる温泉ゴール

(b)ゴールをつるつる温泉にすることで、温泉集客に寄与

(c)日の出町内の自転車店の宣伝

(d)コースに林道を使うことで、住民への負担を最小限にできる

(e)日の出町内自転車屋の宣伝になり日の出町商工後押しとなるし、専門家の集客に期待できる

(f)日の出町内有志、中学生、高校生(無料ボランティアではなく日当を支払う)

(g)自転車愛好者人口が増えているので、安心して参加できるイベントを提供できる

2)フォトロゲイン

(a)すでに開催しているロゲインのタイトルに「日の出町」と入れることで町の宣伝になるしイベントの後押しをする

(b)すでに運営者がいるので、運営ノウハウがあるので手伝いやすい

(c)フォトロゲインは地域の小さな宝や飲食店をポイントにでき、参加者が実際に訪れるので立地が良くない場所でも人々に知ってもらうチャンスとなる

(d)参加者がバラバラに散るので道路閉鎖などの手間がかからない。

(e)参加者に「つるつる温泉入場券」「和菓子店」「陶芸工房」「和紙工房」などのサービス券など参加賞などとして配布することで、来訪モチベーションをたかめることがてらきる。

3)健康ウォーキングコース作成

事前に町内山域を回るコースを整備し、コース各区分歩行による消費カロリーを表示することでモチベーションが上がるようにする。また、ネットを使い町内各コースを歩いた合計距離やカロリーを他の参加者と比べるポイントにするなどのシステムを作り、参加者のやる気を高める。

コース例

武蔵五日市-三内-ロンデン尾根-勝峰山-岩井橋-武蔵五日市

岩井橋-白山神社-日の出山荘-みやび工房-セブンイレブン大久野店

みやび工房-天狗岩む-赤ぼっこ-長淵山ハイキングコース入口(青梅),

みやび工房-西福寺1-日の出第三公園-増戸駅,

増戸駅-日の出第三公園-北郷神社-天竺山-幸神神社

増戸駅-鹿野大仏-野鳥の森公園-イオン-引田駅

などなど、2時間くらいで歩けるコースを充実させる。

P53 18)新しい観光戦略づくり

(1).基本作戦

- 1)低コスト
- 2)町民の意識向上
- 3)学生の町活動参加を促し町を思う心を育てる

2.具体例

日の出町中学校生に日の出町観光案内のホームページづくりを依頼する。

利点:

- (1)中学生に自分たちが住んでいる町の良い点を確認してもらうことができる。
- (2)自分たちが街づくりの一端を担っていると参加意識を持ってもらうことができる。
- (3)外国語のページを作ることで、語学学習意欲増進を期待できる
- (4)社会参加体験の場を提供できる

3. 観光案内板へのアイデア

日の出町町内ならば山中に入らない限り、携帯電話がつながるのでネット検索も可能である。
以上の条件を利用し観光案内もより簡素化したうえに、充実した観光案内をすることが可能である。
下記に一例を記す。

例えば、10cm×10cm位の案内棒を立て各ポイント案内URLQRコードを表示させる。

表示するのはQRコードで指定したURLにアクセスし、観光協会などで事前に作成した案内ページを表示させる。

ネットを使うことで、写真、動画など説明できる材料が多くなる上に、多言語対応、最新情報などへの更新が簡単になる。

伝統工芸などの観光案内- 日の出町内の移植体験場の提供を考える

以下のように日本の伝統工芸品から、自然を利用した活動紹介

- 1.日本伝統工芸の和紙づくり体験工房（和紙工房）
- 2.竹で作る正月の松飾工芸 正月の飾りを竹で作る(もう作れる方がいないか)
- 3.河川敷で不思議な石を積み上げる体験 講師は大久野でヤギを飼育している方